



令和6年度

文化庁活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

山形県山形市

自治体名：山形県山形市

担当課名：部活動地域移行連携室

電話番号：023-641-1212（内線925）

1.自治体の基本情報



基本情報

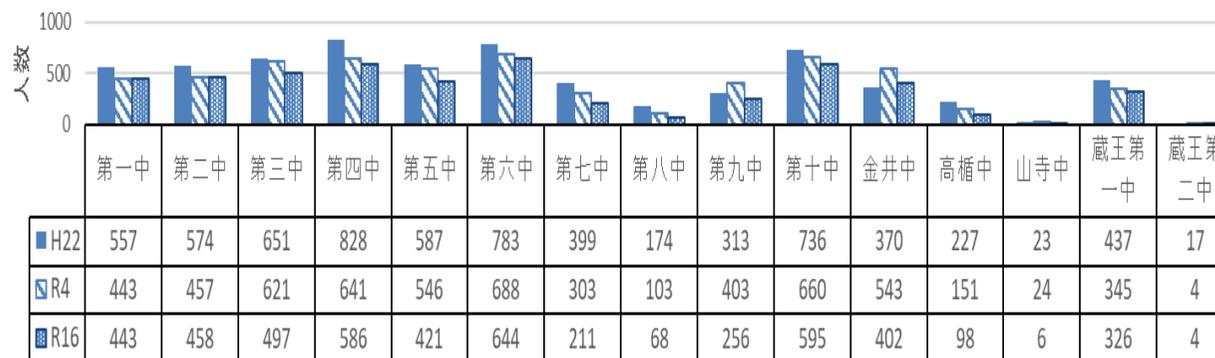
面積	381.58 km ²
人口	239,986 人
公立中学校数	15 校
公立中学校生徒数	5,780 人
部活動数	39 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定作業中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市の、中学校の生徒数は、令和6年4月時点で約5,800人であるが、10年後には約5,000人と推測され、約800人の生徒が減少する見通しとなっている。現在、15校の市立中学校において、文化部は39部活約1,100人が活動しているが、運動部活動と比較すると全体的に部活動数が少なく、学校によっては文化部自体がないため多様な文化芸術の選択が難しい現状にある。団体種目の吹奏楽部では、人口減少に伴い単独でチーム編成ができない学校が生じている。

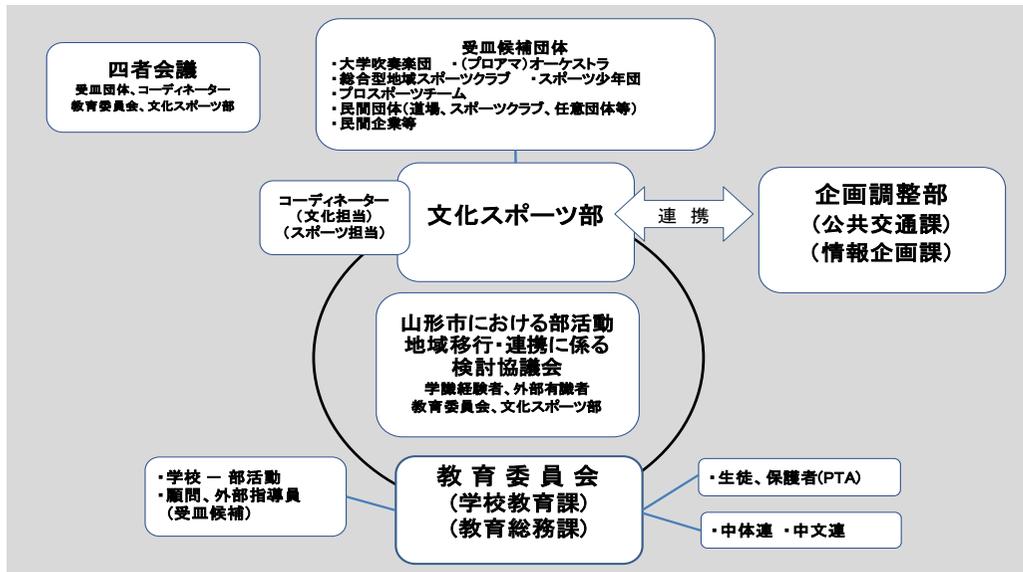
また、令和8年度から全ての市立中学校において、部活動の任意加入制の導入を予定しており、部員数や所属率の更なる減少が想定されることから、多様な文化芸術を選択することができ活動できる場の創出が必要である。

山形市立中学校別全校児童生徒の推移(生徒数)



運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校、部活動、顧問、部活動外部指導者、生徒、保護者との調整及び広報
- ・小中学校校長会への情報提供
- ・部活動指導員の配置計画 など

◎首長部局

- ・（仮称）山形市部活動地域移行・地域連携推進計画の検討
- ・山形市における部活動の地域移行・地域連携検討協議会の運営
- ・地域クラブに関する助言、コーディネート など

年間の事業スケジュール

令和6年4月	コーディネーターの配置 実証事業参加団体の調整
令和6年5月	学校長との意見交換（個別） 関係団体との意見交換
令和6年6月	実証事業開始（順次）
令和6年7月	第1回検討協議会の開催 実証事業活動視察（順次）
令和6年8月	市議会勉強会の実施
令和6年9月	PTA連合会との意見交換
令和6年10月	推進計画骨子案の検討
令和6年11月	推進計画骨子案作成
令和6年12月	実証事業完了（一部を除く）
令和7年1月	第2回検討協議会の開催
令和7年2月	実証事業の検証、課題整理 次年度の検討

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	15校	実施した地域クラブ総数	6クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0クラブ（0部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		6クラブ
全体の指導者数	29人	全体の運営スタッフ数	7人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
山形県美術連盟山形地区	地域の文化団体	美術（新）	月1～2回 (休日)	午前	1年生3人	10～12月	小学校多目的ホール	1人	1人	1,000円	－
マン・クリエイト	民間事業者	写真	3回（休日）	午前	1年生4人	9月	民間施設 公共施設	1人	－	1,000円	－
やまがたジュニアコーラス	地域の文化団体	合唱（新）	月1～2回 (休日)	午前	1年生3人 3年生1人	8～11月	県民・市民ホール	3人	－	3,000円	－

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

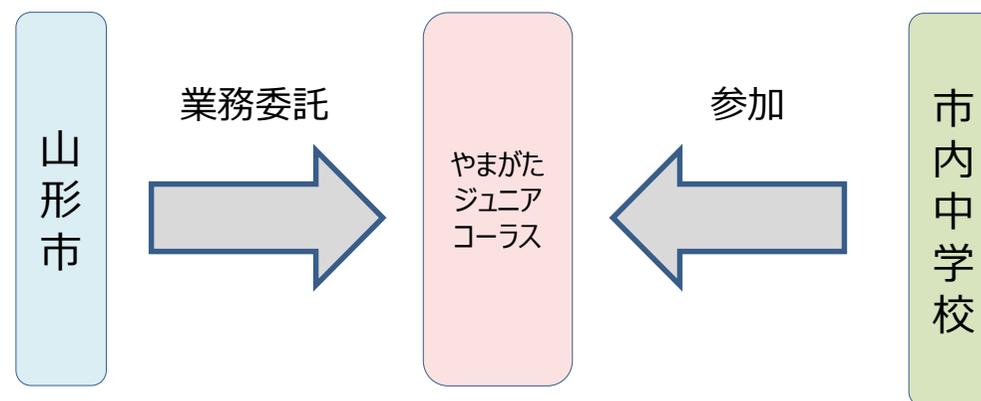
クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
日本棋院 山形県支 部連合会	地域の文 化団体	囲碁（新）	月 2回 (休日)	午前	1年生 2人 2年生 1人	11～12月	公民館	1人	2人	1,000円	—
富岡本店	民間事業者	吹奏楽	月 2～3回 (休日)	午前	1年生 1人 2年生 1人	10～11月	公共施設	19人	1人	2,500円	—
奥の細道 マイスター の会	地域の文 化団体	俳句（新）	月 1回 (休日)	午前	1年生 5人 2年生 6人 3年生 6人	12～1月	公共施設	4人	3人	500円	—

主な取組例

●やまがたジュニアコーラス 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	合唱
運営団体名	やまがたジュニアコーラス
期間と日数	8月～11月 計6日
指導者の主な属性	県合唱連盟 元教員
活動場所	公共施設（県民ホール等）
主な移動手段	保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	3,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者
役割：市との窓口、参加者や会場等の調整全般
- 指導者 3名
役割：パート練習や合奏練習の指導、発表会の指揮者・ピアノ演奏等

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

休日の部活動の地域移行・地域連携に向け、コーディネーターを配置することにより、文化芸術団体等の調整、指導者の確保、参加費用負担等への支援について総合的に推進。

また、令和5年度に立ち上げた検討協議会で外部の意見を取り上げつつ、モデル事業の拡充を図り、実施状況を検証しながら、成果と課題を整理していく。

取組の成果

・文化担当のコーディネーター1名を常勤で配置。教員OBのコーディネーターを配置したことにより、学校及び関係団体等との連絡調整を円滑に行うことができた。

・検討協議会を年2回開催。協議会の構成員を有識者及び学校関係者等に依頼したことにより、他自治体の現状や学校現場等の率直な意見を聴取し、課題の整理につなげることができた。

No.	検討協議会構成員	
1	学識経験者	大学関係者
2	学識経験者	大学関係者
3	学識経験者	大学関係者
4	学識経験者	大学関係者
5	学識経験者	(公財)山形県スポーツ協会
6	関係団体	(公財)山形市スポーツ協会
7	関係団体	山形市芸術文化協会
8	PTA	山形市PTA連合会
9	校長会	山形市中学校長会
10	中体連	山形市中学校体育連盟
11	中文連	山形市中学校文化連盟
12	市職員	山形市教育委員会
13	市職員	山形市教育委員会
14	市職員	山形市文化スポーツ部

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・市内全中学校を訪問し、現状の把握と課題の整理に努めた。
- ・中学校校長会に出席し、部活動改革の取組み等を説明しながら、学校現場の協力を依頼した。
- ・PTA連合会にて部活動改革の説明を行い、保護者の理解を深めた。

今後の課題と対応方針

- ・既存部活動を移行していく実施主体（特に吹奏楽）が確立できていないため、今後、関係団体などと緊密な連携に努める。
- ・令和7年度中に部活動地域移行推進計画を策定予定。課題と対応策を明記し、周知を図っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

専門性が高い指導ができることに加え、教育的な視点からも指導できる文化芸術団体や事業者を選定していく。

取組の成果

プロフェッショナルな技術を有している指導者やその分野に精通している方々の所属団体を受皿団体として、技術力の向上や見識を深める活動を実施できた。また、指導者として元教員を採用することで教育的意義の継承を図った。

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

文化部活動がない中学校や単独での活動が実施困難な学校もあるなか、市内全中学校を対象とすることで広く文化活動に参加する機会を創出する。

取組の成果

文化活動の選択肢が増え、異なる中学校の生徒が参加したことで交流も生まれ、新たな居場所に繋がる取組となった。

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

生徒の成長などがわかるよう成果発表の場を設ける。また、移動手段の確保として、公共交通の担当部署と連携を図り、参加しやすくなるよう検討していく。

取組の成果

成果発表したことで生徒が自信を持つことができ、また、保護者にとって子どもの成長を感じられる良い取組となった。移動手段については、庁内会議を行うとともに令和7年度に策定する計画において引き続き検討することとした。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

令和5年度に構築した関係団体との連携を継続し、発展的に広げていながら、様々な文化芸術団体と意見を交わしながら各分野の振興についても検討する。

取組の成果

昨年度から引き続き、年齢や感覚も近い世代の山形大学吹奏楽団の学生達が指導者となることで、未経験者も活動しやすい環境が生まれ、生徒も活気溢れる活動ができた。

指導者である学生、特に教育学部に籍を置く学生にとっては生徒指導の機会を得られる貴重な経験の場にもなった。

活動風景



今後の課題と対応方針

・今年度の実証事業は全学校型であったことから、次年度は既存の吹奏楽部の地域移行を目指したモデルケースを実施していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

既存の部活動にない多彩な文化芸術活動に触れる機会を創出する。

活動の詳細			
参加人数	17人	指導者数	4人
属性	俳句（奥の細道マイスターの会）		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・山寺の自然や風景を肌で感じ、その想いを俳句で表現することで俳句の魅力を感じる。 ・チームで俳句を披露し、互いに意見や感想をディベートすることで、柔軟な創造力やしなやかな感受性を育む。 		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 限られた字数で詠むことや、相手に情景を連想してもらおう大変さが難しくもあり面白い。 ● 互いに質問し意見をぶつけ合うバトル形式が新鮮だった。 ● 同じ一句でも、捉え方が人によって全く異なることに、言葉の深みを感じた。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者の新鮮な発想に驚きを覚えた。 ● 国語の授業とも違った学びの場であった。 		
運営経費	人件費 6.8万円 講師謝礼 4.6万円 借損料 0.4万円	など	

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

部費の取り扱いなどを参考にしながら参加者の負担が過度にならないよう検討していく。

地域クラブに係る経費

■参加者負担について（実績の一部）

- ・囲碁 1,000円/全4回
- ・合唱 3,000円/全6回
- ・写真 1,000円/1回につき

受益者負担として、「保険料」・「会場使用料」などを考慮し現在の部活動費と大きな隔たりがないよう、実施団体の配慮も見受けられた。

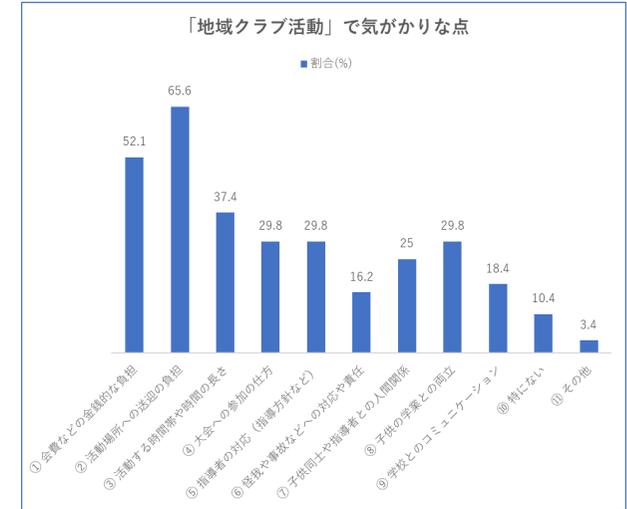
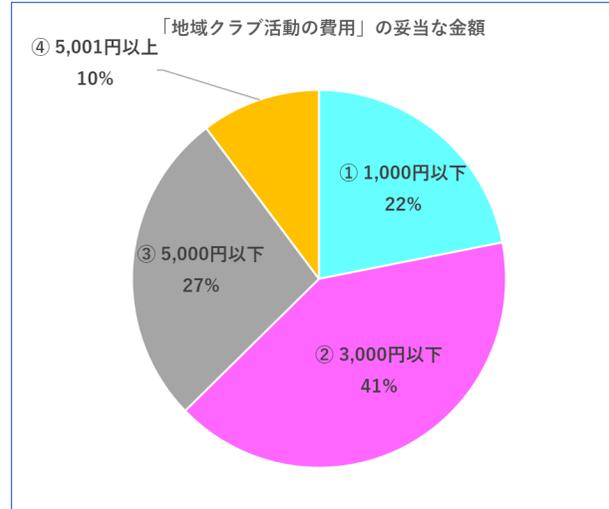
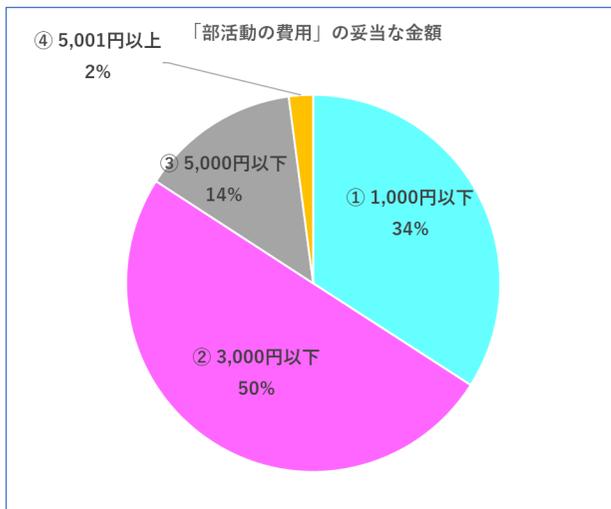
部活動地域移行・地域連携に関する意識調査

中学1・2年生保護者対象

Q.「学校の部活動」に参加させる場合、毎月の会費等の費用として妥当な金額はどれくらいと考えますか。

Q.「地域クラブ活動」に参加させる場合、毎月の会費等の費用として妥当な金額はどれくらいと考えますか。

Q.「地域クラブ活動」を行う上で、気がかりな点はどうのことでしょう。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

活動にふさわしい場所であるとともに、経費削減につながる場所、参加しやすい場所といった視点で適切な活動場所を確保していく。

取組の成果

美術クラブでは、どの中学校からでも比較的参加しやすく無償で借りられる場所に焦点を当て、施設開放している市内中心地の小学校を活動場所を選定した。学校を利用することは、生徒の安全性を確保でき、保護者にとっても会場使用料など経済的負担を抑えられた。

今後の課題と対応方針

部活動にはない文化芸術活動を実施したこともあり、学校や公民館等の施設以外で実施したクラブ活動では、場所の確保や割高な施設使用料の発生が生じた。今後、学校やコミュニティセンターなどを中心に利活用の協力体制を築くことで、受益者負担の低廉化、実施主体の持続可能な運営に繋がると考える。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

中学校の休日における部活動地域移行・地域連携に向けた取組みを以下のとおり実施した。

◆実証事業の実施

文化芸術団体や民間事業者、地元大学などの協力を得ながら6活動を実施。

◆検討協議会の開催

スポーツ・文化に精通した有識者や学校関係者等で組織された協議会を年2回開催し、今後の在り方について検討した。

◆関係団体との協議

文化芸術団体や運営組織、学校関係者と連携を図り、休日における地域クラブ活動の目指すべき姿や方向性について協議した。

◆コーディネーターの配置

中学校長経験者を文化担当のコーディネーターとして配置し、主に学校との調整や状況調査を行った。

●成果の評価

- ◆実証事業では、既存の部活動にはない文化芸術活動を実施したことで、多様な選択肢を提供でき、生徒の新たな可能性や活動の幅を広げることができた。
- ◆検討協議会では、多岐にわたる分野の有識者からの意見や課題を情報共有することで、今後の在り方について共通認識を持つことができた。
- ◆受皿団体と学校側からそれぞれの視点で協議することで、より現実かつ具体的なクリアすべき課題が見えてきた。
- ◆コーディネーターが調整役となることで、学校と市や文化芸術団体との調整が円滑に進めることができた。

●今後に向けて

様々なクリアすべき課題を、検討協議会や関係各所との意見交換を踏まえ、令和7年度策定予定の推進計画において今後示す必要がある、

- ・活動場所の継続的な確保
- ・生徒の移動手段
- ・適切な受益者負担額の設定
- ・楽器の運搬（吹奏楽）
- ・実施主体の持続可能な運営体制 など・・・

2.実証内容と成果②

参加者・保護者の声

【美術】

参加者	保護者
<ul style="list-style-type: none">●とても楽しかったので、また参加したい。●塗り方の種類や例となる絵を見せていただいて、最後の不透明水彩では、自分の納得いく作品に仕上げることができた。●クロッキーからデッサン、水彩画まで、それぞれのポイントやコツまで、丁寧に教えていただきありがとうございました。	<ul style="list-style-type: none">●レッスンの回数を重ねるごとにドンドン上手になっていくのを見ていてわかり、とても良い経験をさせていただいたと思います。●貴重な機会をいただき、ありがとうございました。●最終日に展覧会を開いてもらい、みんなの成果をみて、すごく身につけていると思いました。

【合唱】

参加者	保護者
<ul style="list-style-type: none">●男女問わず色々な学校、学年の合唱好きなお友達と知り合えて活動日が楽しみだった。●お母さんと一緒に練習や発表ができて嬉しかった。●学校の部活動が任意加入になったので、市中総体など関係なく春先から活動してほしい。●発表会があって、友達、家族を感動させられるような合唱ができて良かった。●合唱部がなかったから諦めていたけれどジュニアコーラスがあり、合唱がもっと楽しくなった。	<ul style="list-style-type: none">●親子で聴きながら練習したりとにかく話題が増えた。●中学生だけの募集ではなく、小学生や高校生も参加できると有り難い。●土曜日の午前中は部活があるので、中学生は集まりにくかった●学校の垣根を越えた仲間との交流も魅力的だった。前後期に分けて募集すればシーズンオフのスポーツの子にも届きやすい。

2.実証内容と成果③

広報資料

地域文化クラブ活動への移行に向けたモデル事業

クラブ活動参加者大募集!

山形市では、部活動が地域と連携して取り組み形を検証するため、令和5年度からモデル事業を実施し、令和6年度はさらに事業を拡充していきます。**経験したことのない活動に新たにチャレンジしたい! 興味があったけど、活動する機会がなかった。**など、関心のある中学生の参加者を大募集します。興味のある方は、それぞれの活動の問い合わせ先や申込方法(2次元コード等)により、ぜひお気軽にお申し込みください!

写真

対象者 中学1~3年生

日程 2024年 9月14日(土)/15日(日)/16日(月・祝)

時間 各日 午前9時30分~12時

定員 各日 先着7名(定員になり次第受付終了いたします)

場所 旧吉地医院(十日町2-4-16)

参加費 1回 1,000円(参加日当日にご持参ください)

持ち物 デジタルカメラ、筆記用具
※デジタルカメラをお持ちでない方は、こちらで準備しますので、ご相談ください

講師 佐藤 直記(有限会社マン・クリエイト 代表取締役)

活動内容 撮影方法を楽しみながら自分の想いを自由に表現し、地域の魅力を再発見しよう!!

申込み・お問い合わせ先 下記、部活動地域移行連携室までご連絡ください
(主催) 有限会社マン・クリエイト

吹奏楽

対象者 中学1~2年生 ※未経験者歓迎

日程 2024年
① 10/5 (土) 午前9時~12時 富岡本店(山形市七日町2丁目1-8)
② 10/12 (土) 午前9時~12時 山形大学内(山形市小田町1丁目4-12)
③ 11/2 (土) 午前9時~12時 富岡本店(山形市七日町2丁目1-8)
④ 11/16 (土) 午前9時~12時(未定)
⑤ 11/30 (土) 午前9時~12時(未定)

参加費 1回 500円(ただし、保険加入のため、初回参加時に別途800円を徴収します)

演奏楽器 【木管】Bトランペット/サクソ(アルト・テナ) 定員...計5名
【金管】トランペット/ホルン/トロンボーン 定員...計5名

持ち物 演奏する楽器(お持ちでない方には、貸出します)

活動内容 パート練習や合奏練習を重ね、最後は山形大学吹奏楽団と演奏する楽しさを体験できる発表会を行います!

お問い合わせ先 申込み先
(主催)株式会社 富岡本店 担当: 江口
023-641-0644 t-eguchi@tomioaka.co.jp

※使用している写真はイメージです

囲碁

対象者 中学1~2年生 ※未経験者歓迎

活動期間 2024年9月~12月(予定)

日程 ① 期間内の平日(月~金)夕方~計5回 ② 期間内の土・日・祝 午後~計5回 {日程の詳細は後日お知らせします}

定員 ①②各20名

場所 山形テルサ(山形市双葉町1丁目2-3) 公民館等(予定)

参加費 ①②各1,000円

活動内容 ルール説明から対局まで、囲碁の楽しさに触れよう!

仮申込み・お問い合わせ先
(主催)日本棋院山形支部連合会(山形棋連連) yamagatakengoren@gmail.com

QRコード又はメールアドレス宛に仮申込みをお願いします
仮申込みいただいた連絡後に後日、詳細をご連絡します

俳句

「目指せ! 令和の芭蕉」

対象者 中学1~3年生

日程 2024年
① 9/1 (日) 午前9時30分~12時 霞城セントラル23階(山形市城町1丁目1-1)
② 10/5 (土) 午前9時30分~12時 立石寺/山寺芭蕉記念館(山形市山寺4456-1/山寺4223)
③ 11/2 (土) 午前9時30分~12時 山寺芭蕉記念館(山形市山寺4223)
④ 11/23 (土) 午前9時30分~12時 山寺芭蕉記念館(山形市山寺4223)
⑤ 12/7 (土) 午前9時30分~12時 山寺芭蕉記念館(山形市山寺4223)

参加費 500円(全5回) ※初回参加時にご持参ください

持ち物 筆記用具

活動内容 基礎を学び、実際の景勝地へ出向いて、俳句の楽しさや奥深さを知ろう! 完成作品は山寺芭蕉記念館に展示します!!

申込み・お問い合わせ先 下記、部活動地域移行連携室までご連絡ください
(主催) 奥の細道マスターの会

合唱

対象者 中学1~3年生

日程 2024年
① 8/31 (土) 午前9時~12時 やまぎんホール 練習室1(山形市双葉町1-2-38)
② 9/23 (月・祝) 午前9時~12時 やまぎんホール 練習室1(山形市双葉町1-2-38)
③ 10/26 (土) 午前9時~12時 やまぎんホール スタジオ1(山形市双葉町1-2-38)
④ 11/2 (土) 午前9時~12時 山形テルサ リハーサル室(山形市双葉町1丁目2-3)
⑤ 11/23 (土) 午前9時~12時 山形テルサ リハーサル室(山形市双葉町1丁目2-3)
⑥ 11/30 (土) 午前9時~11時 やまぎんホール スタジオ1(山形市双葉町1-2-38)

発表会 11/30(土) 午前11時~12時 やまぎんホール スタジオ1(山形市双葉町1-2-38)

参加費 3,000円(全6回) ※初回参加時にご持参ください

持ち物 筆記用具、学校で使用している合唱曲集(心のコーラス等)

活動内容 練習を重ね、最終日はみんなで楽しくステージ発表します!

申込み・お問い合わせ先 下記、部活動地域移行連携室までご連絡ください
(主催) やまがたジュニアコーラス

※使用している写真はイメージです

【生徒への参加啓発チラシ】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【合唱（発表会）】



【美術（レッスン）】



【俳句（ディベート）】



【吹奏楽（練習）】

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、文化芸術団体、民間事業者、市長部局、市教委

経過

令和5年度より検討委員会を設置し、山形市における地域移行・地域連携について検討を開始した。令和6年度は、市長部局に「部活動地域移行連携室」を設置するとともに、学校長経験者のコーディネーターを常勤で配置し、教育委員会と緊密な連携のもと、検討協議会や関係団体等との協議を深めながら取組みを進めている。

実施内容

令和6年度は、実証事業の活動数を6活動に拡充し実施した。(令和5年度は3活動) 既存部活動にはない新たな文化芸術活動の実証事業も行った。

また、学校関係者や関係団体と密に協議を行い、推進計画の骨子案を作成し、令和7年度の本格的な策定に向け準備を整えた。

実施にあたって生じた課題

実証事業では、活動場所の確保や移動手段、参加人数の少なさ等の指摘が多かった。また、推進計画において様々な支援策を検討していくことになるが、市としての財源の確保なども大きな課題として考えられている。

今後の展開

令和7年度も関係者等との協議を深めながら、12月までに「(仮称)部活動地域移行・地域連携推進計画」を策定し、令和8年1～3月にかけて、学校や関係団体等に周知していくことで計画している。令和8年度の本格的な地域移行に向けて、地域クラブのあり方や移行スケジュールなどを明確にしていくとともに、地域クラブで活動している団体の情報の収集を徹底し、市民に情報を発信できるよう取り組んでいく。

3. 今後の方向性



地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

【予定】	2023 令和5	2024 令和6	2025 令和7	2026 令和8	2027 令和9	2028 令和10	2029 令和11	2030 令和12	2031 令和13
市 山形市発展計画	山形市発展計画2025		(仮称) 新 山形市発展計画2030						
市 文化創造都市推進基本計画	創造的活動の担い手の育成及び支援								
市 山形市スポーツ推進計画2028	休日の部活動の段階的な地域移行								
市 山形市における部活動の方針	生徒にとって望ましいスポーツ、文化環境を目指して ※状況に応じて必要な見直しを行う								
市 部活動地域移行・地域連携推進計画	調査・研究 骨子案		策定		(仮称) 山形市部活動地域移行・地域連携推進計画 計画期間 令和8年度より令和13年度(5年間) ※本市の状況や国・県の情勢を踏まえながら、必要な見直しを行う				
市 部活動地域移行に向けた実証事業	四者会議、相談と助言								
	山形市における検討協議会								
	委託事業			(仮称) 山形市部活動地域移行・地域連携推進計画に基づく施策等					